



11/11 生け花教室



ご挨拶

整形外科医 野村 一世

平成25年4月から当センターの整形外科医として勤務しています。改めて自己紹介をさせていただきます。

生まれ育ちは金沢で、金沢大学整形外科医局に所属し10年目になります。一般的な整形外科疾患、外傷、特に下肢の変形を専門に診療してきましたが、兼ねてからの希望であった小児の施設に赴任したことは大きな喜びです。

北陸に整形外科医は数百名いますが、特殊領域の小児整形外科を専門にする医師は数名しかおりません。そのため責任は特に重く、まずは健康に注意し、櫻吉施設長のもとで元気に働いていこうと思います。

赴任後早くも半年が経過しました。「乳児股関節検診で指摘された」あるいは「歩き方がおかしいと言われる」子どもを連れて親御さんが診察室に入ってからられる時、大きな不安を抱いていると強く伝わって来ます。多くの場合は問題が無いので、それを伝えると皆さんホッとして帰って行かれますし、私自身もホッとします。しかし病態が複雑で診断、治療が難しい場合はそうはいきません。もちろんホッともできませんし、ますます不安が強くなることもあるかも知れません。ご両親の比では無いと思いますが、我々も強い不安を感じます。しかし小児の持つ能力は素晴らしく、時には私達の不安を払拭するような発達、回復をみせてくれます。治る喜び、発達する喜びを倍返して返してくれる子どもたち、その潜在能力に日々驚かされる毎日のなかで、不安や喜びをいつも共感できる診療を続けていきたいと思えます。